

# Q 一般質問 A

議員は、市長などに対して、市の事務の状況や将来の方針などを質問することができます。この質問を「一般質問」といいます。今定例会では、19人の議員が一般質問を行いました。

吉田 宏

**桑原地区は、どんな街を目指して開発するのか。**  
**都市整備部長** 新たな取手の求心力を担う活力創造拠点づくりをコンセプトに、大規模な商業施設を誘致するだけでなく、周辺の自然環境を生かしながら一日遊び、くつろげる空間を構成。  
**今後の事業課題は。**  
**答** 大規模な事業のため、交通渋滞解消、造成後の雨水処理など今後も協議していく。  
**関係権利者の皆さんの意向は。**  
**都市整備部次長** 事業協力者の公募手続を進めることに合意形成が図られた状況。  
**今後の予定は。**  
**答** 平成32年度には都市計画決定の手続等を進めていきたい。

佐藤 隆治

**市教育行政連絡調整サポートチームの役割は。**  
**市長** 教育委員会事務局機能の強化策や、いじめ防止対策条例制定に側面から支援する。  
**市長と教育委員会が協議調整する総合教育会議がある。心の教育をテーマにした思いは。**  
**答** 私の強い思い。人の命の大切さ、心の教育を早急に対応する必要性を強く感じている。  
**そのほかに取手市の教育再生のため、どんな提案をされたのか。**  
**答** 心の教育の充実のほか、子どもが言いたくても言い出せない隠れた予兆をしっかりと読み取るため教職員向け研修プログラムの充実。また、保護者を支援していくプログラムが必要とされる。信頼を取り戻し、笑顔あふれる町にしたい。

入江 洋一

**取手駅西口A街区の目指す街づくりの進め方は。**  
**都市整備部長** 敷地の共同化による建築物の一体的な整備を目指し、権利者の検討会を組織。今後、事業協力者を公募する。  
**共同化の目指す事業手法、市街地再開発事業とした理由は。**  
**答** さまざまな要因を検討し地権者のメリットを考慮。  
**事業実施に国の補助などはあるか。**  
**都市整備部次長** 都市機能の集積を図る立地適正化計画を策定することで、国の有利な補助制度の利用を図りたい。  
**街づくりのイメージは。**  
**都市整備部長** 居住機能、にぎわいある公共公益施設、緑豊かな市のイメージを象徴する都市環境機能など。



商業地等の整備が期待される桑原周辺地区(桑原陸橋から撮影)

阿部 洋子

**親と赤ちゃんが学校に赴き、生徒が触れ合い、命の大切さを学ぶ「赤ちゃん登校日」の実施を。**  
**指導課長** 素晴らしい取り組みと認識している。赤ちゃんに触れ合う体験活動を取り入れている学校もあり、各学校の実態に応じて進めたい。  
**就学援助の入学準備金支給時期を速やかに。**  
**教育部長** 今年度から入学前に支給するよう実施していきたい。  
**藤代スポーツセンター噴水施設は全く水が出ないまま放置されている。今後どうするのか。**  
**答** 計画的に修繕しなければならない設備が多々ある。今後の研究課題。  
**学校も含めた地震訓練(シェイクアウト)の実施を。**  
**総務部長** 11月1日実施を考えている。

染谷 和博

**桑原周辺土地利用構想。市長の意気込みは。**  
**市長** 大きな期待のかかるこの事業。権利者間で土地利用基本構想、土地区画整理事業による手法、事業協力者の公募等について合意形成を進めた。都市マスタープラン(市計画)で、将来的な開発拠点の一つとして位置付けてきた。営農希望や土地の減歩などの課題を調整し、市も全力を挙げて一日も早い事業の完成を目指したい。  
**問** 今後のスケジュールは。  
**都市整備部長** 今後、事業協力者を選定し、準備組合設立は平成30年度、都市計画決定を遅くとも32年度当初、34年工事着手が今の計画。

石井 めぐみ

**子どもクラブのプログラム作成方法は。**  
**スポーツ生涯学習課長** コーディネーターと担当職員とで相談しながら考えている。  
**子どもクラブを利用する子どもたちの成長をどのように見て、考えているのか。**  
**答** 考える力、探求心を身に付けられるようなプログラムを考えている。  
**登録児童数が増えている中、支援員の確保、処遇改善はどうなっているのか。**  
**答** 募集しているが、なかなか集まらない。処遇改善は検討。厚労省の放課後子どもクラブと文科省の子ども教室を分けて導入すべきではないか。  
**教育部長** 調査研究をしていきたい。

小堤 修

**粗大ごみの不法投棄されやすい場所と自然環境の関係は。**  
**まちづくり振興部長** 市では職員のパトロールや啓発看板の他、不法投棄ボランティア監視員、タクシーや郵便局からの情報提供などで監視体制を取っている。場所としては人目につきにくい山林や雑草の繁茂箇所が道路脇が多い。  
**問** それらの場所に対する対応策は。  
**まちづくり振興部次長** 職員によるパトロール徹底の他、監視員19人との会議を通じて情報共有を図っている。その他必要に応じて、監視カメラを設置することもある。また、土地所有者の、草刈りや枝切り、柵の設置など、適正な管理が防止につながる。

山野井 隆

**来年度から国民健康保険制度が広域化される。保険税は上がるのか。**  
**健康増進部長** 現時点では値上げは避けられる。  
**市民へのお知らせを早急に。**  
**国保年金課長** 12月にホームページや広報等で周知する予定。市の保健事業の成果や医療費削減が保険税に反映されるが、市の状況は。  
**答** 保険者努力支援制度として県内2番目の高い交付金が交付されている。  
**国保会計の基金が13億円となっている。この考えは。**  
**健康増進部長** インフルエンザ等の流行に備え、安心な積み立ては必要。また、被保険者への還元方法として、市の施策に寄与する仕組みを検討する。

池田 慈

**先生と議会との意見交換を行った際、加配では担任の負担は減らない。少人数学級の実施を進めるべきとの話があった。山形県では学力向上、不登校・欠席者の減少が報告されている。市として早期実施を。**  
**教育参事** 少人数学級は先生側にメリットがあり、それが子どもにも返っていく。一方で、加配は、ティームティーチングやクラスを二つに分けて少人数で指導できるなど柔軟性がある。また、退職した先生で非常に力のある方が加配によって入ることで2人の違った目で見ることができる。現状をよく把握していきたい。  
**相談できる専門の先生の増員や常勤化を。**  
**答** 検討していきたい。